阿知須町広報
発行所
阿知須町役場
山口県吉敷郡阿知須町
発行 広報委員会
編集広報委員会事務局
印刷所
宇部新聞社

今月の納税は
固定資産税
1期分
軽自動車税
全期分

町政の安定で 3年ぶりに当初予算成立

総額50.427.760円の歳入

赤字解消額 本年度は三百二十万円

三十五年度の予算を決定する予算議会（第二回定例町議会）は三月三日招集され、この予算を中心に五日間にわたり慎重審議の結果当初予算額歳入五千四十二万七千余円、歳出四千七百二十二万七千余円を執行部原案通り万場一致で可決された。なお歳入歳出差引三百二十万円は、準用団体として赤字解消にわり充てられる。

又特別会計（国民健康保健）は保険税、国庫支出金など四百七十二万円を含む歳入と歳出の療養費三百六十五万円を含む総額四百七十五万円が承認された。

また、三月二十一日、財政再建計画の変更案を主とした第一回臨時議会が招集され、原案どおり承認を決定し、自治庁に対し申請を行つた。

役員改選 議長に工藤靖夫氏当選

なお、〃計画変更〃議案ほか九議案決定の後、正、副議長など諸役員の改選が行なわれ、議長に工藤靖夫、副議長に岩村幸夫の両氏が選出され、各常任委員も新顔ぶれが決つた。両議会に提出された議案は次の通り（★印は審議内容及び結果）

議案第十号
町長等に関する給与支給条例一部改正について
★原案どおり可決決定

議案第十一号
一時借入金について
★三十五年度内の一般会計財政調整資金として借り入れ、本年度内に返済、借入金額四千万円以内の案で原案どおり可決決定。

議案第十二号
一時借入金について
★議案第十一号と内容は同じだが特別会計分として五十万円以内となつている。原案どおり可決決定

議案第十三号
昭和三十五年度一般会計予算の議定について
★別表のとおり（大略）可決決定

議案第十四号
昭和三十五年度特別会計予算の議定について
★総額四百七十五万円の歳入歳出予算案で一般会計同様原案通り可決決定された。

議案第十五号
山口県市町村災害基金組合の設置について
★可決決定

議案第十六号
財政再建計画の変更について
★内容要綱は別掲の通り、原案どおり可決決定。

議案第十七号
昭和三十四年度一般会計追加更正予算（第三回）の議定について
★再建計画の枠内での操作をあくまで基本原則として追加更正された。地方交付税の九十八万六千円を追加歳入の主なものとして、また歳出では積立金として四十一万円、温泉会計繰出金九十一万二千円を主としての合計百四十万の追加を計上した予算案で可決決定された。これで本町の三十四年度の一般会計予算は一億円を突破したことになる。

議案第十八号
昭和三十四年度温泉特別会計追加更正予算(第二回)の議定について
★一般会計から繰入を行なつた九十一万二千円を主とした歳入として負債整理に充たるため編成された予算案で、原案どおり可決決定

議案第十九号
昭和三十三度一般会計決算認定について
★次議会まで継続審議決定

議案第二十号
町有財産処分について
★道路拡張により、その代替地（山林三畝二十一歩）として処分する案で可決決定

議案第二十一号
町有財産処分について
★車庫、ポンプ、ホースを阿知須浦連合部落会に無償で譲渡した後は、町としては一切関知しないことを条件とし、可決決定された。

議案第二十二号～二十四号
記念品料支給について
★先きに辞職された中川前町長、塚本前助役、山本前議員に対して その功績に対し町としては何んらかの記念品を贈ろうと、記念品料を支給することを決定し、各々過去の例に習らいきめられた。

選挙第一号
議長選挙について
★工藤靖夫氏が当選

選挙第二号
副議長選挙について
★岩村幸夫氏当選

選挙第三号
常任委員の選任について
★総務委員には
田中博、磯金清雄、大浜勇、藤田安治、福永元吉
社会委員には
藤井久市、水本富士男、大沢謙之助、熊野太助、大沢茂六
産業委員には
古川辰夫、辻岡春市、岡本守、重村三郎、藤村忠明の諸氏が選任された。

選挙第四号
常任委員長の選任について
総務委員長 田中博
（副委員長 磯金清雄）
社会委員長 藤井久市
（副委員長 水本富士男）
産業委員長 古川辰夫
（副委員長 辻岡春市）
の各氏が決定した。

選挙第五号
臨時出納検査立会人の選任について
★藤井久市、藤田安治の二氏が選任

選挙第六号
特別委員会委員の選任について
★ゴルフ場特別委員会委員が次の通り決つた。
藤田安治、福永元吉、大沢謙之助、田中博、大浜勇、古川辰夫、藤井久市（委員長は藤田安治、副委員長に福永元吉の諸氏を決定）

選挙第七号
特別委員会委員選任について
★宇部合併準備委員会委員が次の通り決定した。
大沢謙之助、磯金清雄、田中博、古川辰夫、藤井久市、大浜勇、藤田安治。
委員長に大沢謙之助、副委員長に磯金清雄氏が決定

本年度の財政再建資金の融資額決る

融資額は二千七百五十万円

昭和三十五年度の財政再建資金の融資額が決定した。

四月五日広島郵政局長より本町の財政再建資金として融資される枠が本町に通知されてきました。これにより町では七日郵便局を通じ広島郵政局に借入申込書を提出した。

この融資は四月中旬に本町に貸出される見込です。

財政再建計画の変更について

財政再建計画の変更については当初計画を策定したときより歳入の増に伴う昭和三十四年度の最終調整の計画変更です。

この変更によると、歳入が二百七十九万五千円の増になり、その内訳は、地方交付税九十八万六千円、国県支出金四十万六千円、財産収入六十八万六千円、分担金負担金二万三千円、使用料手数料十五万八千円、雑収入五十六万八千円が増に、この内一般財源に充当されるものが地方交付税九十八万六千円、雑収入の内二十四万五千円の計百二十万四千円であります

歳出では、人件費三十三万四千円、物件費六十万一千円、維持補修費に十六万二千円、建設事業費に十六万七千円、公債費に二十二万一千円、赤字解消補てん金に四十一万円が充当されています。この内一般財源として充当されるものは、人件費で十一万二千円、物件費十一万一千円、扶助費では十九万一千円減になり建設事業費では三十六万九千円が充当され、また公債費では二十二万一千円、赤字補てん金は全額一般財源が充当されています。

これにより、三十三年度の赤字五千五百九十七万六千円は三十四年度で二千七百十一万円赤字解消をしたことにより残額は二千八百八十万六千円になります。

建全明朗な議会運営を

議長 工藤靖夫

このたび、議会の機構改革により、不肖の身を以て議長の要職をけがすことになりました。

もとより浅学非才その上経験ではたしてこの重責に耐え得るかどうか誠に危惧いたしているものでありますが、議員各位をはじめ町民皆様方の御協力と御鞭撻を賜り健全明朗な議会運営を図ると共に町執行権を侵すことなく又侵されず、相互の職責を明確にし、しかも両者協調のもとに明るい町行政実現のために微力をつくす所存であります。

御高承の如く本町は財政再建の第一歩をふみ出したばかりであり今後五ケ年間は一つの枠にはめられた、きびしい道程でありましょうがお互いがお互いを信頼しこの羊腸の道を力強く前進致しましょう。更には又再建と並行して輿望である宇部市合併を強力に推進するべく努力したいと考えています

願くば町民各位の歴代議長によせられました御協力と御指導を更に一層強力に賜りますよう御願い致しまして御挨拶といたします。

昭和35年度一般会計予算 （款別）

歳入

款	35年度	34年度	増減△
町税	26.908.790	25.413.360	1.495.430
地方交付税	9.289.000	9.286.000	0
公営企業及財産収入	37.330	28.040.280	△28.002.950
分担金負担金	737.796	776.028	△38.232
使用料及手数料	1.066.450	1.204.800	△138.350
国庫支出金	1.254.798	1.702.750	△447.952
県支出金	8.948.436	671.305	8.277.131
寄付金	10	10	0
繰越金	10	10	0
雑収入	185.110	408.600	△223.490
町債	2.000.030	20.500.000	△18.499.970
歳入合計	50.427.760	88.006.143	△37.578.383

歳出

款	35年度	34年度	増減
議会費	920.362	1.190.790	△270.428
役場費	9.257.821	12.536.200	△3.278.379
消防費	642.242	1.666.050	△1.023.808
土木費	16.948.200	2.817.690	14.130.510
教育費	9.882.350	8.467.572	1.414.778
社会労働施設費	1.999.567	2.193.099	△193.532
保健衛生費	524.970	556.530	△31.560
産業経済費	984.856	2.440.350	△1.455.494
財産費	315.940	286.640	29.300
統計調査費	37.750	16.400	21.350
選挙費	116.870	305.100	△188.140
公債費	4.852.860	23.260.142	△18.407.282
諸支出金	680.810	31.972.053	△31.291.243
予備費	63.162	297.617	△234.455
歳出合計	47.227.760	88.006.143	△40.778.38

歳入． 歳出
赤字解消額 50.427.760−47.227.60=3.200.000円

▷新年度予算について◁

三年ぶりに本予算を編成、昭和三十三年、三十四年の二カ年間は暫定予算で各年度とも出発したが、本年度は三年ぶりに本予算が当初から決定された。これは、財政面はいうに及ばず、町政全般の執行に安定した基本線が表われたものといえましょう。

ではこの表により、前年度に比しての増減を中心に説明してみましょう。

一、歳入では

町税では昨年度に比べ百四十九万五千四百三十円の増となつていますが、これは単なる自然増であります。

公営企業及び財産収入では二千八百余万円の減になつていますがこれは昨年度は温泉売却に伴う財産売却やその他埋立地代が含まれているので、従つて本年度は普通財産収入だけが計上されている関係上減となつているわけです。

県支出金は、昨年度より八百二十七万七千百三十一円が増になつていますが、これは漁港改修事業補助金が八百六十万円含まれているからです。

町債は、本年度漁港改修事業費が計上されています。また、昨年度は財政再建債が計上してありましたが、これは一時借入金として財政資金を借入れておりますので本年もこの方式で財政再建をすることになつています。

二、歳出では

土木費、教育費、財産費、統計調査費が昨年より増となつていますが、まづ土木費では漁港改修事業費が、教育費では中学校建設費が、財産費では災害基金組合設立に伴う積立金が増になつています 統計調査費では本年度は国勢調査農林業センサスなどの調査費が増になつています。その他については減になつていますが、議会費は経常費の節減により、役場費では職員退職によるものや物件費の節減により、また消防費は、昨年二、三部の消防車を買入れたが本年はそれに対するものが減となつています。社会及び労働施設費保健衛生費は物件費の節約によるもの、産業経済費は単独補助金及び造林事業費が、選挙費は本年は農業委員及び海区漁業調整委員の選挙もありますが、昨年度は参議院、県議会議員のあつたものが本年は不要になりそれぞれ減額されています。

公債費については、赤字の大半を占めていた借入金が昨年度で償還を完了し、政府資金だけになつたもの、諸支出金では、過年度支出が全額なくなり、繰上充用金が本年は未だ決定されていないためです。

以上が財政再建のため本年度三百二十万円の赤字補てん金として充当され、健全財政の執行がなされ、行政水準の向上と町民福祉の増進のため決定された予算です。

浜表など十一区表彰さる

収納率96％県下屈指の好成績挙ぐ

昭和三十四年度の納税組合表彰式は去る三月三十一日町公民館で区長集会と併せて行なわれ、町税の完納に私事も投げうって協力され、優秀な成績を収められた各区納税組合及び組合長が次の通り表彰された。

◇組合表彰（督促令書が一枚も出されなかった区）漁業納税組合 砂合一、砂合二、且東、且西、門松、浜表、赤迫、井関、杖川 背畑

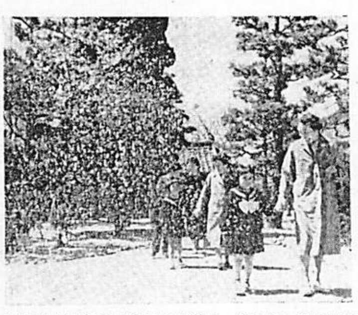
◇組合長表彰（前記組合の組合長及び督促令書は出されたが、三月三十一日までに完納された組合の組合長）

【納税組合表彰式】

工藤靖夫（漁組）、坂野明一（小東）、松浦正勝（砂一）、砂村安太郎（砂二）、重田マサ子（且東）、藤井梅雄（且西）、福永節子（門松）、福岡愛二（浜表）、藤村千代子（赤迫）、福富新治（井関）、古井太郎（杖川）、松永哲夫（河内）国重貞登（向井関）、石本力（仙在）村田幹男（背畑）

（写真）は組合長表彰（各区代表）をうける松浦正勝さん

新入学児童は おかあさんが 交通指導を



指折り数え待ちに待った入学式。お母さんに手を引かれ登校する新入生。お母さんも自分の入学式かのようにわが子を見られる表情も嬉しさでいっぱい。

新学期がやって来ました小学校一年生になった児童や、幼稚園に行く子供達は、急に親のひざもとから離れて、はげしい自動車や人の流れの中を通うことになります。

「よく気をつけてね……」と幼稚園や小学校に出かけるたびに注意しても、帰りが遅ければ、もしや交通事故でもと心配は絶えません。

昨年七百三十八人の児童が死傷

昨年中県内の交通事故で死人は二百十人あります。このうち小学生以下の犠牲者は四十一人です。また、ケガをした三千五百五十八人のうち、小学生以下は六百九十二人で、いずれも死んだ人やケガをした人の約二十パーセントにのぼっています。

この事故の原因をみますと車の前や後の横断と、斜め横断が圧倒的に多く、路上での遊び、幼児のひとり歩きが次に目立っています

おかあさんの中には「ふだん、くどい程と注意していたから十分心得ていると思ったのに…」とおっしゃる方があります、しかし、いくら言葉で注意しても決して完全とはいえません。一にも二にもふだん実際的なしつけを子供自身にしっかり身につけさせることが大切です。

◇言葉より手をとって教える

子供のしつけは、おかあさんからといわれます。そこで、つぎのことについてよく指導し、一つ一つ実行させることが第一です。

① 幼稚園や小学校に行く道順はよく調べて少し位遠くても安全な道を選ぶこと。

② 歩きながら本を読んだり、ふざけたりしていると、車に気がつきません。

③ 道路を横断するときは

イ いったん止って、右と左の安全を確める。

ロ 走る車のすぐ前や後を横切ってはいけない。

ハ 斜めに横切ることは更に危険です。

ニ 物陰から急に飛び出すことはやめる。

④ バスは必ず定められた場所で待ち、飛び乗り、飛び降りをしない。

⑤ 道路で遊ばせない

⑥ 自転車に二人乗りしたり、道路で練習をさせないこと。

以上六点に加えて、子供達の通学の途中や、遊び場にどんな危険な場所があるかということを、おかあさん自身が何度か歩いてみて十分心得ていれば実際的な注意もできるわけです。また、ときどきその注意を守っているかどうか実地に確かめてみることも必要です。

ネズミくじ 当ってはいませんか

テレビなど電機製品の当たる〝ネズミくじ〟の抽せん会は去る三月二十八日宇部市民館で厳正に行なわれた結果、次の通り当選番号がきまりましたので、当りくじをお持ちの方は五月二十日までに町厚生課へ持参されるようお知らせします。

・特等（テレビ又は電気冷蔵庫）
ハ組　二〇七九五

・一等（電機洗濯器）
ロ組　四〇七一五
ホ組　〇七三三二

・二等（オールウエーブラジオ）
ヘ組　一二四四五
ヘ組　三七七七二
ホ組　四〇三一二
ヘ組　二八五〇三
ホ組　一三八二一

・三等（懐中電灯）
下四ケタ各組共通
六四〇三、二二二五
五六二三、七五八一

・四等（電球60ワット）
下三ケタ各組共通
九四三、二六七、七三二、四二八

なお本町には二等までの該当者はありませんが、一応参考のために二等までの当選番号も掲載しました。

健康優良児

ベビー・アジスきまる

去る三月八日実施された本町の赤ちゃんコンクール第一次予選をパスした十七名の赤ちゃんから本年のベスト5を決める大会は三月十七日行なわれ、次の坊ちゃん嬢ちゃんが入賞した。なお県大会の期日は現在のところ未定です。

（括弧内は部落及び父氏名）

一等　国重広道（向井関—浩）
二等　石田和枝（浜　—義香）
〃　平川正孝（北祝—勇治）
三等　弘中裕治（赤迫—孝）
〃　岡崎　誠（小西—康治）

（写真向って左から裕治ちゃん、和枝ちゃん、広道ちゃん、正孝ちゃん、誠ちゃん）

新区長さん決まる

前区長さん／町行政の完全な浸透に尽力されたことを深く感謝します。

つきましては4月1日付をもつて新区長さんへバツトンが渡されましたが、前区長さんに引続き区のため町のために御尽すいされんことをお願い致します。

なお、新区長さんの氏名は次の通り

小東	縄中房一	岩西前	牧野良隆
小西	未定	岩辻	福重好雄
小南	山田秀雄	岩上	原田正二
北祝	井上伍一	且東	伊藤朝夫
南祝	桂正之	且西	藤重延一
恵比須	田中喜義	且北	伊藤悦三
築地	山田保彦	門松	藤本一男
東	大沢謙之助	岡	鈴川明
縄南	江本兼雄	浜表	古谷保一
縄北	湖崎一雄	赤迫	古谷信一
中村	川崎健三	井関	田中伝一
西条	林芳明	野口	坂田広信
寺河内	兼重文一	杖川	桜井武一
浜	青木昇	河内	咲花義治
砂一	松浦正勝	源河	国重啓介
砂二	平岩長松	向井関	国重元夫
砂三	大西律明	引野	中野治介
飛石	小林京一	仙在	谷本常雄
岩西	高津徹雄	背畑	村田幹男
岩前	上野公正		

第10回町内駅伝 小古郷チーが初優勝

第十回町内一周駅伝競走は三月二十七日例年とちがつて快晴のもとに開催された。午前十時半、号砲一発、小古郷など精鋭十チームがスタート、全町選手を擁する小古郷チームが、一区からトップを占め、後半東条、砂合の猛追をおさえ一時間十五分二十五秒で二位東条を約一分半引離して初優勝を飾った順位は①小古郷1時間15分25秒、②東条1時間16分47秒、③砂合1時間18分11秒、④寺浜、⑤引野

（写真上）役場前スタート

初優勝の小古郷チーム長久選手のゴール

合格おめでとう

合格者の皆さんおめでとう、中学校卒業後実社会に出られた方に負けぬように勉学にいそしまれることを祈ります。

なお、私立高校合格者は紙面都合により、出来得れば来月号に掲載さしていただきますので、御了承をねがいます。これで高校志望者全員が入学できたことになります。

山口高校

・普通科　岡村稔、古谷卓昭、松井宏、岡村次男、西岡利子、藤野明子
・商業科　今井泰広、山崎玲子、中西久子

中央高校

・普通科　吉村恵子、徳永悦子、岸本信子、大田礼子

防府商業高校

・貿易科　村長剛二

山口農業高校

・全日制農業科　田中正信、中村秋夫、福富稔實、井本邦昭、我谷勲、石丸公彦
・全日制家庭科　田中貞子
・定時制中心校農業科　水本宏伸
・定時制小野分校農業科　田村健

宇部高校

・普通科　西村孝行、山村義和、野村静修、梅田和弘、中野泰司、藤村義一、長井勝彦、石川東海子、松崎文子、松本慶子、上野佝子、原田旬音、藤村明子、岡部周代、松田由紀子
・家庭科　河野直代、綱重シゲ子、岡嶋洋子、岸本忠子、汐見澄子、下川紬子、山田恵子、山田雪、

宇部工業高校

・電機科　沖永荷治、古谷勝男
・機械科　中村公治、冨田隆文、古谷祐次
・工業化学　浜村提雄、中野進、沖永宏二
・定時制機械科　竹重信義、伊名田利秀、藤村聡、伊藤修

宇部農芸高校

福本守、山村正之、野上徹、田辺勝明、田辺時夫、村重万寿男

宇部商業高校

木村俊弘、茂木洋三、藤井信征、村上卓雄、川崎敏子

小野田高校

・普通科　中尾信介、浅田忠雄
・家庭科　大浜嗣代、山根秀子、村重まゆみ、工藤方里子

小野田工業高校

・工業計測科　日置兼一、田中浩昭
・工業化学　松井正
・機械科　竹代秀治

山口水産高校

・漁業科　長尾敏三、中谷武夫、沼田弘美、長久泰
・製造科　長井清

宇部市立高校

春戸山智三、武永勲、田中恭郎、藤村聡、河村敏夫、

三月短歌会詠草

潮引きし海あかあかとともされて
凍つく干拓の工事は進む　兼重　きぬ

萌え出る若草の野に頭いいて四十
の年をふと思ひけり　財津　宗人

遠くより水汲みに来る人口々に丁
字の匂ひほめて帰りぬ　河野　英子

春となる疾風静まり君が窓のあか
りの中に降る雨の見ゆ　是枝　英雄

五寸程伸びし空豆の花咲けり海辺
につづく砂畑の中　河崎　幾代

洗いおきし冬菜をきればさらさら
と氷こまかく散りてこぼれる　植村トシ子

春季畜犬の注射登録

昭和35年度畜犬登録と狂犬病予防接種を下記の通り実施致します。

実施月日　4月18日野口農協支所。4月19日町役場。いずれも午前9時より午後4時迄

料金登録代三〇〇円、注射代一八〇円、登録に印鑑を要しますので忘れず持参下さい。

戸籍の窓

よろこびとかなしみ

（出　生）

父氏名	続柄	出生児	部落
湖村昌敏	長女	貴子	西条
武永浩	長女	典子	東
吉村勇	長男	裕治	飛石
大田三郎	長男	道広	向井関
北山利幸	長男	浩	砂三
竹原栄治	二女	公子	門松
金沢百合馬	長女	眞美	南祝
重村正之	三男	清次	門松
藤永嘉昭	長女	安子	且東
松田朝雄	長男	靖	且西
真藤守	長男	宏幸	砂三
山野芳雄	長女	恵子	且北

（婚　姻）

夫	高杉昭彦	山口市江崎
妻	縄田道子	東
夫	岸村幸雄	都濃町
妻	三宅教子	西条
夫	望月太喜雄	砂一
妻	平沢則子	東
夫	藤永嘉昭	且東
妻	原田幸子	岩上
夫	浅田信行	宇部市新町
妻	新谷文子	浜
夫	中野俊治	浜
妻	松永キヨ子	佐山
夫	岸本宗彦	西条
妻	大比田幸子	東岐波
夫	辻田敏明	岩辻
妻	西村田鶴子	砂二

（死　亡）

氏名	死亡年月日	年令	部落
中谷ナミ	三月三日	84	恵比須
兼定好太郎	三月四日	76	西条
辻岡源弌	三月六日	80	岩辻
橋本房子	三月十五日	0	東
中村カ子	三月十七日	93	西条
橋本シナ	三月十八日	83	小西
原田留吉	三月二十日	73	岩上
今井安三郎	三月廿七日	76	東

（二月二十六日から三月三十一日まで）